

事業説明シート 3 施設改良事業(継続)

部局課所 水道局総務課
 総合計画 1 章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
 6 節 上・下水道の整備
 1 項 上水道の整備
 重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

【①事業の目的】 災害に強くより安全な施設づくりをめざして、基幹施設である取水、浄水、送水、配水施設の整備を行う。1日最大配水量の12時間分の水量確保を目標に配水池の整備を行うことにより、平成15年度末には、現在の9.4時間分から11.3時間分まで配水池容量の増加を図る。	【②事業の対象】 上水道給水区域内全域
【③全体事業概要】 手形山配水池の増設を行うほか、駅東幹線など主要な配水幹線の整備や、浄水場の施設更新を計画的に実施する。	【④新年度事業概要】 駅東幹線 φ600 L=720m 手形山配水池築造その2 仁井田浄水場中央監視設備更新その1 仁井田浄水場フィーダー盤更新 他
【⑤備考】 配水池容量の時間換算比は、計画一日最大給水量(24時間分)に対してどれだけの水を貯留できるか、時間単位で示したもの。全国平均は10.3時間分で、国の基準は12時間分	【⑥国県施策名】 緊急時給水拠点確保事業 【⑦国補助率】 1/3 【⑧県補助率】 【⑨起債充当率】 90

事業評価シート 3 施設改良事業(継続)

【①事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】					
● 無 ○ 有					
【②民間事業との競合】					
● 無 ○ 有					
【③住民ニーズ、行政需要の動向】					
● 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向			水需要の伸びは鈍化傾向にあるが、利用者ニーズは、災害時も含め常に安定した水の供給を求める方向に高度化する傾向にある。		
【④市が今行う必要性】					
○ 無 ● 有			国では災害に強い水道をめざして計画一日最大配水量の12時間分の貯水量を目標値にしているが、本市は平成13年度現在9.4時間分である。なお、平成11年度の全国平均は10.3時間分。		
【⑤事業外部の条件整備(関連事業等)】					
○ 問題無 ● 要配慮			浄水場等の基幹施設の整備計画は、広域化により計画が変更になる。		
【⑥事業成果(アウトカム)指標】					
指標	配水池容量の時間換算比				
選定理由	当該事業の成果として機能が向上するものとして、災害時における確保水量があり、計画一日最大配水量の12時間分を目標に事業を進めているため。				
計算・推計方法	配水池有効容量/計画一日最大配水量×24時間 ※計画一日最大配水量は水道事業基本計画で規定				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
実績	9.4	9.4	9.4	11.3	11.3

